

# 第767回 立教開宗会

4月27日

日蓮宗管長

菅野日彰猊下御親修



清澄

令和元年5・6月  
合併号

発行所  
〒299-5505 千葉県鴨川市  
清澄322-1  
© 清澄寺  
TEL 04(7094) 0525番  
FAX 04(7094) 0527番  
振替 00140-5-55501

印刷所  
天津(有)ブラザーアート  
送料共1部100円

## お知らせ

### 7月

21日8:00~15:00

22日8:00~12:00

妙見宮大祭

27日19:00

信行会(唱題行)

### 8月

1日11:00

大施餓鬼会法要

10日13:00

盂蘭盆会法要

27日19:00

信行会(唱題行)

## 菅野日彰管長猊下を迎えた初の立教開宗会

4月27午後2時より、第

767回立教開宗会慶讃音

樂大法要が、清澄寺住職日

蓮宗管長・菅野日彰猊下を

大導師に、副導師には二宮

別當、並びに荻野泰繼僧正

(千葉県南部宗務所長・高

生寺住職)、式衆に千葉県

南部声明師会雅楽部各聖の

御出仕のもと、厳修されま

した。

来賓として、日蓮宗宗務

総長ご名代 松永慈弘総務

局長、大本山誕生寺 石川

日命猊下、本山妙覚寺 村

田日淨猊下、本山鏡忍寺 片桐日岳猊下、千葉県南部

宗會議員 小泉輝泰僧正、日本山妙法寺様、管内寺院

様はじめ、全国和讃会、檀信徒等約200名が参列さ

れ、有志による和讃奉納、声明や雅楽の演奏によって莊嚴な音楽法要が執り行われました。

法要後には、本願人推挙報告が行われ、永代大本願人

窪田久夫様

黒野房子様

大本願人

水野秀樹様

本願人 渡辺喜代子様

上村美智代様

佐藤嘉高様

の推挙式、当日御欠席された方には証書を送らせて頂きました。

最後に管長猊下は挨拶の

中で、「日蓮大聖人の立教開宗

までのご一代記をお話しされた後、私たちは恵まれた社会に甘んじ、ありがたさを忘れてしまうことがあります。世界に目を転じれば、過去に日本が味わった貧しさや争いが今なお、起っています。

全てに人たちが幸せになるために、民衆とともに法華經を読まれた日蓮聖人のみ心を今一度呼びおこしていただき、「今こそ教えを弘めるときです」と、ご親教を示されました。



28日のご来光



また、当日11時より、日本山妙法寺仏舎利塔50周年記念法事が盛大に執り行われました。

信育道場に於いて、同日19時より、導師に求道同願会会長桐谷征一僧正、太鼓に同事務局・原秀明上人をお迎えし、報恩唱題行を參籠の皆様や近隣の檀信徒、総勢50名にて行わせていました。

生活指導に始まり衣帶指導・声明練習・読經練習・食事作法・所作指導等の教師としての基本姿勢の実践修行に励まれました。

## 唱題行

## 平成30年 第4回 僧道林

3月24日より28日の4泊

5日で、「平成30年度第4回僧道林」が開校されました。

福井県妙智寺住職坂井是真主任をはじめ教職員の教師7名が10名の林生の訓育に努められました。

会員の皆さんにはお題目の書かれた行衣を身にまとい、お昼過ぎに山の中腹から行列を組み、御旗を先頭に日蓮大聖人の歩まれた旧道を中心に徒歩でお題目を唱えながら清澄寺に到着されました。



## 希心会 登山修荷

本年も希心会の皆さんが連日にわたり登山修行に来られ、4月6日より5月27日まで約5000人の会員の皆さんが登山されました。

会員の皆さんにはお題目の書かれた行衣を身にまとい、お昼過ぎに山の中腹から行列を組み、御旗を先頭に日蓮大聖人の歩まれた旧道を中心に徒歩でお題目を唱えながら清澄寺に到着されました。

夜は遅くまで説法会があり、翌日は3時起床に始まり、暗いうちから旭が森にて修行を致します。

当山の祖師堂での朝勤にも参列され、二宮別當から親しく御挨拶させて頂きました。



## 千葉西部

## 「いのりの日」

4月29日、千葉県西部宗務所(土井了真所長)主催の「いのりの日」が開催され、

教師、寺族、檀信徒総勢約325名が参加し登山修行が行われました。

清澄寺に到着後、唱題行進にて旭が森・摩尼殿・祖師堂を参拝。その後、研修会館にて昼食を済ませ、午後からは、3班に分かれ、祖師堂にて唱題行、会館にて写経、会館道場にて読経と信行致しました。14時45分より、津軽三味線奏者「笛川皇人」によります清興が行されました。

4月25日、身延山新入生靈跡参拝団一行、58名が参籠されました。

## 新入生靈跡参拝 身延山



身延山布教部のお上人をはじめ、僧道実修生、身延山高等学校や本院寮の新入生と、それを訓育する指導員等の方々が清澄以外にも、日蓮聖人の靈跡寺院を1泊2日かけ参拝されます。

また来山時には、本院寮の学生、並びに実修生を筆頭に、唱題行脚にて来山し、

唱える御題目、打ち鳴らす太鼓の音は、境内に響き渡る勇ましいものとなりました。

## 花祭り

お釈迦様の誕生日と言わ

れるのが4月8日です。

当山でも8日の朝勤に合わせて、お釈迦様への読經・回向がなされました。

又、参拝された方が灌仏を行えるように、摩尼殿の正面には花御堂を設置します。



一休みいただけるようにお団子と甘茶をご用意させていただきました。

花御堂とは、お釈迦様の母親が咲き誇る無憂樹の花の下で、お釈迦様を産んだという花園をかたどったもの。

灌仏とは、お生まれになつた時、龍が天より甘露を降らせ、お釈迦様に産湯を使わせたという言い伝えから、お釈迦様の像へ甘露に見立てた甘茶を注ぐ作法をいい



それに合わせて今回、90名の参加者で茶会を開催されました。

3月31日11時より、裏千家淡交会千葉県支部「千桜会」を開催されました。

今回の「千桜会」は、平成27年秋に、支部創立50周年記念事業を、裏千家千宗室家元様のお献茶式を中心に行われ、その折り一本の枝垂れ桜を植樹され、3年が過ぎ毎年見事に花を咲かせております。

## 「千桜会」 裏千家



平成31年度  
第1回 度牒交付式



平成31年度第1回度牒交付式が、4月3・4日にかけて行われました。

師匠と共に全国各地より  
来山された度牒生は、信育

道場にて法式所作や読経試験を行い、その後祖師堂にて、度牒交付の予行練習をし、摩尼殿に於いて御開帳、並に縁起説明を受けられました。

精進料理の夕食を食べた後、千葉県南部布教隊の法話を聴聞、日蓮聖人御一代記のビデオ鑑賞等、目まぐるしい日程ながらも、深く仏教に浸る事の出来た時間となりました。

翌日は、午前4時45分起

されました

師堂にて法式実習・読経試験を行いました。

その間、檀信徒の方々はお題目写経を行い、書いた写経は檀信徒が見守る中、納経塔に納められ、その後諸堂案内

その間、檀信徒の方々はお題目写経を行い、書いた写経は檀信徒が見守る中、納経塔に納められ、その後諸堂案内を受けられました。

度牒生と檀信徒が合流し

大宝寺  
度牒団參

5月11日・12日に山形県

大宝寺（新谷宝珠住職）新谷  
凌久様の度牒交付式が行わ



賞と続きました。

明朝、度牒交付の式典が熱  
り行われ、度牒生の大きな声  
での読経や身のこなしから  
は、僧侶としての慈覚が溢れ  
ているようでした。

最後に、二宮別當より沙弥としての心構えのお話しがなされ、度牒交付式は終了致しました。

詩言

平成と令和の切替で世間は慌ただしくなつておりましたが、いよいよ5月1日より、令和元年がスタートしました。

当山の開宗会も、菅野管長猊下任期初法要となりました。当日も初夏の陽気を思わせる日天の輝きのもと、まれ、任期初の法要に相応しい素晴らしい法要となりました。

また、28日の御来光も水

平線から昇る旭日を拝む事もでき、山務員の私も感動いたしました。今年も仏金利塔周辺や清澄寺参道脇に



仏舍利塔50周年記念法要

ユリの花が植えられ、6月中旬にはきれいな花が咲き誇る頃となりそうです。